

【参考資料】

外部団体名	説明	コーディネーション型	講師型	ワークショップ型	校外学習型
NP0法人 赤城自然塾 (事務局)	「NP0法人赤城自然塾」は赤城山を中心に環境教育を推進する40以上の団体と100を超える個人の広域連携組織である。そして、事務局は、様々な環境教育イベントを企画主催したり、各学校の要望や目的に応じて、会員の中から最適な団体や講師を紹介したり、環境学習プログラムの作成などの相談に応じたりといった、環境教育のコーディネーター的な役割を担っている。	◎	※ 紹介	※ 紹介	※ 紹介
ぐんま森林 インストラ クター会	「ぐんま森林インストラクター会」は、森林を通して森林の大切さや自然環境の重要性などの啓発に努めている団体である。動植物観察や森林整備、登山指導、自然の中での遊びなど、子どもからお年寄りまでを対象に、県内各地で様々なイベントや講習会を開いている。	—	○	◎	△ 独自のフィールドはない
ネイチャー ゲームの会	ネイチャーゲームは、いろいろなゲームを通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気付くことを目的としたゲームである。県内には「あかぎ」「はるな」「つつじヶ岡」の各ネイチャーゲームの会があり、指導員を派遣している。	—	—	◎	△ 独自のフィールドはない
環境サポ ートセンタ ー	「環境サポートセンター」は、群馬県庁内にあり、環境森林部環境政策課が管轄している。環境に関するあらゆる質問相談を受け付け、県内の各団体の紹介や環境学習資料の提供等をしている。Webページ上には、県内の環境系団体を検索できるデータベースもある。移動環境学習車である「エコムーブ号」の貸し出しも受け付けている。	○	※ 紹介	◎	※ 紹介
サンデン株 式会社 (サンデン ファシリ ティ株式会 社)	サンデンフォレスト内で、環境に配慮した工場の見学と、自然体験活動ができる。また、「森の役割」についての出前授業も行っている。	—	○	○	◎
緑の少年団	「緑の少年団」は、次代を担う少年少女たちが「緑を愛し」、「緑を守り」、「緑を育てる心を養う」ことを通じて自然を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育ってゆくことを目的とした団体である。本県では県内すべての小学校に結成されている。そして県は、緑の少年団が森林や自然環境への理解を深めることを目的に行う学習活動に必要な活動費を補助する助成制度「がんばれ！緑の少年団事業」を展開していて、この制度を利用すると、外部団体からの講師の謝金や交通費、教材などの消耗品代、移動の際のバス代などを補助してもらうことができる。	—	—	—	—

記号の説明

◎ = 特に適している ○ = 適している ※ = 他の団体や個人を紹介する連携は可能

△ = 独自のフィールドはもたないが、他のフィールドに出向いての連携は可能